

# 会 報

No. 27 (1987年6月)

## 目 次

- ◆日本分子生物学会第5期評議員選挙結果…………… 1
- ◆日本分子生物学会評議員会議事録要旨…………… 1
- ◆日本分子生物学会第5期  
(1987年4月1日～1989年3月31日) 役員名簿…………… 2
- ◆第10回日本分子生物学会年会のお知らせ…………… 2
- ◆学会費納入についてお願い…………… 4
- ◆日本分子生物学会入会申込みの手順…………… 5
- ◆第1回「東燃研究奨励賞」及び「協和発酵加藤記念研究  
奨励賞」受賞者推薦募集について…………… 7
- ◆山田科学振興財団より…………… 7
- ◆講習会「生物物理」について……………10
- ◆第8回国際原生動物学会議について……………11
- ◆昭和61年度(第27回) 東レ科学技術賞……………12
- ◆昭和61年度(第27回) 東レ科学技術研究助成……………12

日 本 分 子 生 物 学 会  
(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

#### ◆日本分子生物学会第5期評議員選挙結果

投票締切：昭和62年3月16日

開票日：昭和62年3月20日

開票場所：大阪大学理学部 A527 室

開票者：選挙管理委員（小川英行，品川日出夫，小笠原直毅）

有効投票者総数：170人

無効投票：1人（送付用封筒に無記名）

上位20名の当選者は下記のとおりです（ABC順）

藤永 惠	本庶 佑	堀内 忠郎	池田日出男
今本 文男	石浜 明	上代 淑人	松原 謙一
三浦謹一郎	岡崎 恒子	大石 道夫	大沢 省三
関口 睦夫	志村 令郎	杉浦 昌弘	鈴木 義昭
高浪 満	谷口 維紹	豊島久真男	由良 隆

#### ◆日本分子生物学会評議員会議事録要旨

日時：昭和62年4月20日 10時30分～13時00分

場所：国際文化会館

出席者：藤永 惠 堀内 忠郎 池田日出男 石浜 明  
上代 淑人 三浦謹一郎 岡崎 恒子 大石 道夫  
関口 睦夫 鈴木 義昭 高浪 満 豊島久真男  
由良 隆(以上評議員)  
内田 久雄(前会長)

#### 議 事

##### (1) 会長選挙

規約にのっとり評議員の互選により高浪満を第5期（昭和62年4月1日～昭和64年3月31日）会長として選出した。

##### (2) 選考委員選挙

投票により次の5名を選考委員として選出した。

石浜 明，松原謙一，大石道夫，大沢省三，関口睦夫

##### (3) 幹事の選任

高浪会長より集会幹事を三浦謹一郎，水野重樹両氏に，また編集幹事を内田久雄氏に委嘱したい旨発言があり，承認した。庶務幹事，会計幹事および会

計監査については人選を会長に一任した。

(4) 年会について

由良年会会長より本年度年会の準備状況（特別講演者として海外より2名招待の予定など）について報告を受けた。

63年度年会に関して、三浦集会幹事より、東京で開催の準備を進めている旨、および同年秋には生化学会も東京開催が予定されているので何らかの調整をとることを検討中である旨報告があった。

64年度年会については、内田前会長より仙台で開催することについて内諾を得ている旨報告があった。

(5) その他

a) 内田前会長より日本分子生物学会10周年記念事業として、丸善株式会社より「シリーズ分子生物学の進歩（仮称）」全15巻（日本分子生物学会編）を刊行する計画で企画を進めている旨報告があり了承した。

b) 学会設立以来、学会事務局は東京大学医科学研究所に置かれてきたが、将来学会センターに移してはどうかと言う提案があり検討することとなった。

◆日本分子生物学会第5期（1987年4月1日～1989年3月31日）役員名簿

会 長	高浪 満						
評 議 員	藤永 恵	本庶 佑	堀内 忠郎	池田日出男			
	今本 文男	*石浜 明	上代 淑人	*松原 謙一			
	岡崎 恒子	*大石 道夫	*大沢 省三	*関口 睦夫			
	志村 令郎	杉浦 昌弘	鈴木 義昭	谷口 維紹			
	豊島久真男	由良 隆	（*印：選考委員）				

庶務幹事 岡 穆宏

会計幹事 山本 正幸

編集幹事 内田 久雄

集会幹事 三浦謹一郎 水野 重樹

会計監査 深沢 俊夫 飯野 徹雄

◆第10回日本分子生物学会年会のお知らせ

第10回年会を、1987年11月25日(水)～28日(土)の4日間、国立京都国際会館（京都・宝ヶ池）で行います。スケジュールについては、後日（10月中旬予定）お送りするプログラムでお知らせします。

特別講演は、Mark Ptashne 教授 (Harvard University) と Marc W. Kirschner 教授 (University of California, San Francisco) を11月26日 (木) 午後に予定しております。演題は未定です。

準備委員会の構成は下記の通りです。

畑中 正一	本庶 佑	今井 六雄	伊藤 嘉明
川出 由己	駒野 徹	皆川 貞一	中西 重忠
沼 正作	大井 龍夫	小関 治男	志村 令郎
高浪 満	竹市 雅俊	柳田 充弘	由良 隆(委員長)

### 講演の申込み

1. 一般講演の演者は、本年度会費既納の本学会会員に限り、1人1題とします。なお、他の講演の連名者となることは差しつかえありません。
2. 一般講演の申込みは、同封の用紙に必要事項を記入し、書留便で年会係までお送り下さい。なお、プログラム編成について、希望があれば、“プログラム編集用カード”上欄外にお書き下さい。ただし、御希望にそえないこともあります。  
締切日 1987年8月15日(土)(必着)

〒113 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル内

(財)日本学会事務センター学術講演会開催業務部内

第10回 日本分子生物学会年会係

電話 (03) 817-5831

3. 演者の本年度会費納入を確認するために、申込書の所定の欄に、会費払込みの際に郵便局が発行する領収書のコピーを貼付して下さい。  
なお、入会手続中の方や、領収書を紛失された方は同欄にその旨御記入下さい。また、入会の申込みをされる方には、入会申込書と会員カードを提出された後に、学会事務センターより会費の請求書が送付されますので、御注意下さい。  
会費未納の場合は、申込みを受理致しませんので御注意下さい。
4. 演題受領書は、申込用紙到着後、演者の本年度会費納入を確認の上、返送致します。発表の日時についての通知は、会員の方に発送されるプログラムをもって代えさせていただきます。演題は申込みの形式および内容に関して不備、あるいは不相当と考えられる場合、不採用のこともありますので御承知下さい。
5. 一般講演の時間は、12分(講演10分、討論2分)の予定です。スライドは35m/m判10枚以内とします。会場は6会場の予定です。なお、応募演題数によっては、講演時間を変更することがありますので御了承下さい。

### 参加申込み及び参加費

1. 年会参加費は5,000円(ただし、学生4,000円)です。これには講演要旨集1部の代金が含まれています。なお、要旨集のみ希望の方には、会員1,500円(ただし、会員1人につき1部のみ)、非会員3,000円でお届けします。
2. 本年度は懇親会を11月26日夕刻に国立京都国際会館内において予定しております。懇親会費は5,000円です。奮って御参加下さい。
3. 年会参加費、要旨集代金、懇親会費の払込みには、同封の振替用紙を御利用下さい。

同封の用紙を使用されない場合には、必ず通信欄に、第10回日本分子生物学会年会と記入の上、送金のうちわけ、住所・氏名を御記入の上、下記の郵便振替口座へ御送金下さい。

口座番号 東京9-66455

加入者名 (財)日本学会事務センター 学術講演会係

整理の都合上、申込者1人につき1枚の振替用紙を御使用下さい。

4. 10月10日までに参加費を払い込まれた方には、年会前に講演要旨集を郵送致します。10月11日以降に払い込まれた場合には、年会会場にて要旨集をお渡しすることになりますので御注意下さい。
5. 参加費払込みの領収書は、原則としてお送り致しませんので御了承下さい。念のため、郵便局の領収書を保管しておいて下さい。
6. 当日申し込まれる方は、会場受付で参加費をお支払い下さい。
7. 年会期間中の宿泊については、日本交通公社(JTB)京都支店より御案内いたします。(同封)
8. 第10回年会に関する問い合わせ先  
本年の年会運営は下記で担当します。この年会についての御意見は下記宛お願い致します。

(財)日本学会事務センター内

第10回日本分子生物学会年会係

### ◆学会費納入についてのお願い

1. 昭和62年度分および未納分の学会費を4月上旬にお送りした請求書(郵便振替用紙)により納入してください。なお、学生会費を納入される方は、細則第2条により、在学証明書を日本学会事務センターへ提出して下さい。

## 記

正会員学会費 2,500円

(但し、在学証明書を提出したときは2,000円)

学会費の納入に際しては年会参加費と混同しないようにお願いします。

2. 年会講演申し込みには、学会費納入控（または領収書）のコピーを添付することが必要です。講演を希望される方は、学会費納入控（または領収書）を保管しておいてください。

### ◆日本分子生物学会入会申込みの手順

日本分子生物学会に入会を希望される方は、書面または電話によりお申し込みください。所定の書式をお送り致します。

〒113 東京都文京区弥生2-4-16

(財)日本学会事務センター 日本分子生物学会係

電話 (03) 817-5801

## 分 類

<u>対象別項目</u>	<u>内容別項目</u>
1. 真核生物・細胞	A 遺伝子の構造
2. 原核生物・細胞	B 遺伝子の複製
3. 腫瘍ウイルス	C 遺伝情報の転写
4. DNA ウイルス・ファージ	D 遺伝情報の翻訳
5. RNA ウイルス・ファージ	E プロセッシング・修飾
6. プラスミド	F 核酸化学
7. トランスポゾン・IS	G 変異・障害と修復
8. 染色体・クロマチン	H 組換え機構
9. mRNA・rRNA	I 形質転換
10. tRNA	J 遺伝解析
11. 低分子 RNA	K 高次構造
12. リボソーム	L 分子集合・形態形成
13. 構造蛋白質	M 細胞周期・分裂
14. 制御蛋白質	N 発生・分化
15. 酵 素	O 運 動
16. 細胞膜	P 神 経
17. 受容体・生理活性物質	Q 免 疫
18. オルガネラ	R 老 化
19. インターフェロン	S 進 化
20. ホルモン・成長因子	T 癌化とトランスホーメーション
21. その他	U 遺伝子工学
	V 細胞工学
	W その他

## ◆第1回「東燃研究奨励賞」及び「協和発酵加藤記念研究奨励賞」受賞者推薦募集について

今般、東亜燃料工業株式会社と協和発酵工業株式会社より、分子生物学の研究に携わる若手研究者に対して「東燃研究奨励賞」及び「協和発酵加藤記念研究奨励賞」を設け、奨励金を授与することになりました。上記の件につき、選考を本学会に依頼されましたので、推薦を受けたい方は下記に従って応募してください。

### 1. 両研究奨励賞応募者の資格

大学及び研究機関において分子生物学の領域で優れた研究を行っている大学院学生及び若手研究者。ただし本学会員に限る。

### 2. 授与件数と金額

各賞 2件2名(計4名)、研究奨励金 1名につき50万円

### 3. 応募方法及び締切日

以下の書類などを昭和62年8月31日必着で、日本分子生物学会「研究奨励賞」係まで郵送する。応募書類などは原則として返却しない。

- 1) 所定の応募用紙に必要事項を記載したもの5部(コピーも可)
- 2) 論文目録に記載された論文の別刷5部(コピーも可)

### 4. 応募用紙請求先及び応募書類送付先

〒611 京都府宇治市五ヶ庄  
 京都大学化学研究所分子生物学研究部門内  
 日本分子生物学会「研究奨励賞」係

## ◆山田科学振興財団より

昭和62年4月

### 申込要領改訂のお知らせ

財団法人 山田科学振興財団

理事長 永 宮 健 夫

この度、次記のように、来日、派遣の援助申込要領を改訂いたしましたので、よろしくご査収の程お願い申し上げます。

記

来日援助申込要領	1部
派遣援助申込要領	1部

援 助 名	募 集 開 始	締 切 日
来 日 (63年4月～64年3月分)	62年4月1日	62年11月30日
長 期 間 派 遣 (63年4月～64年3月分)	62年4月1日	62年11月30日
短 期 間 派 遣	出発月の4カ月前の15日が締切日 (例：62年10月出発の場合62年6月15日が締切日)	

研究援助候補推薦要領及び推薦書用紙は62年9月頃お届けします。

募集開始 62年9月 締切日 63年3月31日

## 山田科学振興財団来日援助申込要領

### 援助の趣旨

本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する在外の個人又はグループが来日し、学識を交換して、学術の国際交流を促し、又研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等のために、次の援助を行います。

高度の研究業績を持つ研究者が、講演、討論等を主目的として、短期間（通例3カ月以内）来日するための援助。

### 援助金

- イ. 本年度の総額 派遣援助と併せて5,000万円の予定
- ロ. 渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等

### 申込手続

- イ. 所定の用紙又はその写しに必要事項を記入する。
- ロ. 招へい状、推せん書、連絡の往復書信、来日者業績一覧表、その他申込者において補足説明を要すると判断される場合は、その説明書を添付する。
- ハ. イ、ロ、共おのおの3部ずつご送付願います。

### 記載上の注意

- イ. 黒インクで明瞭に記入して下さい。
- ロ. 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
- ハ. 外国人名は、フルネームを活字体で書き、読みかたをフリガナで示して下さい。邦人名にはフリガナを付けて下さい。
- ニ. 申込書第1頁欄外の脚注には記入しないで下さい。

### 申込期限

昭和62年11月30日（昭和63年4月1日～昭和64年3月31日に来日予定の方）

### 選考方法

選考委員によって選考のうえ、理事会が決定します。

### 選考結果の通知

申込者にあてて通知します。

### 援助金の贈呈

適時贈呈します。

### 申込書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)  
〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号  
電話 大阪(06)757局3311(代表)

### 付

- イ. 援助金の使途を変更するときには、予め本財団の承諾を得て下さい。
- ロ. 申込者及び来日者には、援助による成果について報告書の提出を求めます。
- ハ. 成果について刊行する場合には、本財団の援助による旨書き添え、その別刷2部をお分け下さい。
- ニ. ご提出いただきました申込書は、返却いたしません。

## 山田科学振興財団派遣援助申込要領

### 援助の趣旨

本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する個人又はグループを国外に派遣し、学識を交換して、学術の国際交流を促し、又研究を共にして、相互に研究の学際的あるいは国際的進展を図る等のために、次のイ. 及びロ. の援助を行います。

- イ. 高度の研究業績を持つ研究者を、講演、討論等を主目的として、短期間（通例3カ月間以内）派遣するための渡航費の援助
- ロ. 高度の研究活動を実施しつつある新進研究者若干名を、協同研究への直接参加を主目的として、長期間（通例3カ月～1カ年間）派遣するための渡航費、滞在中の国内旅費、滞在費等の援助

## 援助金

本年度の総額 来日援助と併せて5,000万円の予定

## 申込手続

所定の用紙又はその写しに必要事項を記入し、次のイ.ロ.の各文書あるいはそれらの写しを添え、おのおの3部ずつご送付願います。

- イ. 短期間派遣にあつては、1. 集会の内容を紹介する文書 例へば、集会のサーキュラー及びプログラム等 2. 申込者の講演・発表等の要旨 3. 派遣先と交わした申込者又はこれに代る人からの**往復書信**等の連絡書信 4. 研究指導者又は所属機関長の推薦書 5. 申込者の研究報告のリスト
- ロ. 長期間派遣にあつては、1. 申込者の直接指導者又は所属機関長による本申込及び本研究に対する評価又は推薦の文書 2. 派遣中の具体的な研究計画書及びそれを本人が英、独あるいは仏訳したもの 3. 受け入れ先の発行した招へい状及び受入受諾を確証する約定書 4. 派遣先と交わした申込者又はこれに代る人からの**復書信**等の連絡書信 5. 申込者の研究報告のリスト

## 記載上の注意

- イ. 黒インクで明瞭に記入して下さい。
- ロ. 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
- ハ. 外国人名は、フルネームを活字体で書き、読みかたをフリガナでお示し下さい。邦人名にはフリガナを付けて下さい。
- ニ. 申込書第1頁欄外の脚注には記入しないで下さい。

## 申込期限

- イ. 短期間派遣  
出発予定日より4ヵ月以前の月の15日  
(例：10月に出发予定のときは6月15日が締切り日に当たる)
- ロ. 長期間派遣  
昭和62年11月30日(昭和63年4月1日～昭和64年3月31日に出发予定の方)

## 選考方法

選考委員によって選考のうえ、理事会が決定します。

## 選考結果の通知

申込者にあてて通知します。

## 援助金の贈呈

適時贈呈します。

## 申込書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)  
〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号  
電話 大阪(06)757局3311(代表)

## 付

- イ. 援助金の使途を変更するときには、予め本財団の承諾を得て下さい。
- ロ. 申込者には、援助による成果について報告書の提出を求めます。
- ハ. 成果について刊行する場合には、本財団の援助による旨書き添え、その別刷2部をお分け下さい。
- ニ. ご提出いただきました申込書は、返却いたしません。

昭和63年度

## 山田科学振興財団研究援助候補推薦要領

### 援助の趣旨

本財団は、自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する個人又はグループに対し援助します。

### 援助の件数及び期間

- イ. 件 数  
1件1千万円以内の援助を10件内外
- ロ. 期 間  
1年を原則とします。

### 推薦方法

- イ. 推 薦 者  
本財団が依頼した学(協)会の代表者
- ロ. 推薦件数  
1推薦ごとに4件以内

ハ. 推薦手続 推薦者は、以下の書類を整え、ご送付願います。

1. 所定の推薦書用紙又はその写しに必要事項を記入したもの 5部
2. 添付書類(ページ・研-5 参照)

#### 記載上の注意

- イ. 黒インクで明瞭に記入して下さい。
- ロ. 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
- ハ. 推薦書第1頁欄外の脚注には記入しないで下さい。
- ニ. 代表研究者は所属する大学(部等)・研究機関等の長から本援助の申込をすることについての承諾を得て下さい。

#### 推薦締切期日

本財団へ推薦書が到着する締切期日は昭和63年3月31日(木)です。

#### 選考方法

選考委員会において選考のうえ、理事会が決定します。

#### 選考結果の通知

昭和63年7月末迄に推薦者及び代表研究者等にあって通知します。

#### 援助金の贈呈

選考結果の通知後2分割して支給します。

#### 推薦書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団  
(Yamada Science Foundation)  
〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号  
電話 大阪(06)757局3311(代表)

#### 研究の成果又は会計の報告

援助金の受領者に対して、必要に応じ、研究経過、研究成果又は会計について報告書の提出又は発表を求めます。

#### 付

- イ. 援助金の用途を変更する場合には、予め本財団の承諾を得て下さい。
- ロ. 援助金から支出することのできない経費は、文部省科学研究費の場合に準じます。たとえば海外旅費は支出出来ません。
- ハ. 研究成果を文書によって発表される際には、本財団(財団法人 山田科学振興財団, Yamada Science Foundation)の援助による旨を記載し、報文の類いにあつてはその別刷2部、また著書の類いにあつてはその1部をご寄贈願います。
- ニ. ご提出いただきました推薦書及び添付書類は、お返しいたしません。

### ◆講習会「生物物理」について

会 期: 1987年8月20日(木) 10:00—8月22日(土) 16:00

会 場: 野口英世記念会館ホール(新宿区大京町26番地, 国電千駄ヶ谷駅下車徒歩10分)

主 催: 社団法人 日本物理学会

聴講料(講演要旨集1部の代金, 送料を含みます。)

一 般: 18,000円

会 員: 13,000円

学 生: 4,000円

日本物理学会賛助員の団体に所属する方および協賛団体に所属する方は会員並の料金となります。

定 員: 378名

聴講申し込み方法: 氏名, 住所(聴講券等の送付先), 所属学協会, 勤務先をお書きの上, 現金または郵便為替にて聴講料を添えて, 下記にお申し込み下さい。

本講習会プログラムなどの問い合わせおよび聴講申し込み先:

105 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館 211号室

日本物理学会 講習会係

電話 03-434-2671

## ◆第8回国際原生動物学会議について

### 第8回国際原生動物学会議説明書抜粋

#### 1. 会議の名称

第8回国際原生動物学会議

The 8th International Congress of Protozoology

#### 2. 主催 日本原生動物学会

国際原生動物学委員会 (IUBS Commission on Protozoology)

#### 3. 共催 筑波大学 (予定)

財団法人 国際科学振興財団

#### 4. 後援 日本学会議 (希望)

#### 5. 会期 昭和64年7月11日～7月18日 (8日間)

#### 6. 開催場所 会場名 茨城県新治郡桜村 筑波大学会館

#### 7. 会議の性格と目的

本会議は、原生動物学の進歩とそのための国際協力を目的として、国際生物科学連合原生動物学委員会 (国際原生動物学委員会と略称) と、開催国の国内組織委員会との共同で、4年毎に開催される国際会議である。原生動物は、細菌、藍藻、真菌を除くすべての微生物を含む真核単細胞生物の総称で、原生生物 (プロチスタ) とも呼ばれているが、原生動物学は、このような原生動物を研究対象または研究材料とする生命科学であり、基礎生物学の各分野のほかに、医学、獣医学、畜産学、水産学、環境科学などそれぞれの重要な一分野が含まれる。このような原生動物学は、一方において分子生物学の材料として最近注目を集めていると同時に、他方、マラリアやトリパノソーマなどに見られる主として開発途上国における人間や家畜の熱帯病の研究や、赤潮などに見られる環境汚染の研究の基礎として、応用科学としても研究の推進が迫られている学問分野であって、この会議の開催によってえられる国際協力の成果が期待されている。

#### 8. 連絡責任者

〒500 岐阜市司町40 岐阜大学医学部生化学教室

第8回国際原生動物学会事務局 野沢 義則

電話 0582-65-1241

◆昭和61年度（第27回）東レ科学技術賞

正賞金メダルおよび副賞各 300万円

推薦学協会	研究題目	受賞者
日本生物物理学会	生体高分子の統計力学的研究	早稲田大学教授 斎藤信彦
日本化学会	固体酸および固体塩基の研究と開発	北海道大学教授 田部浩三

◆昭和61年度（第27回）東レ科学技術研究助成

研究助成金総額 100,000,000円

(五十音順)

推薦学協会	研究題目	代表研究者	助成金額
日本物理学会	イオン散乱分光顕微鏡の開発	理化学研究所主任研究員 青野正和	(再) 10,000,000
日本植物学会	シダ植物における無配生殖の遺伝様式と進化機構	東京大学理学部附属植物園教授 岩槻邦男	9,000,000
日本薬学会	情報伝達系におけるGTP結合蛋白質の役割—細胞の増殖・分化を誘導する情報の伝達を中心に—	東京大学教授 宇井理生	15,000,000
応用物理学会	発光トンネル接合の研究	東北大学電気通信研究所教授 潮田資勝	9,000,000
日本物理学会	有機超伝導体の合成と物性	東邦大学教授 佐々木 亘	5,000,000
化学工業協会 日本水質汚濁研究協会	外部環境の周期的制御による新微生物機能の発現とその利用に関する基礎的研究	東京大学生産技術研究所教授 鈴木基之	9,000,000
日本細胞生物学会	肝細胞膜タンパク質の細胞内輸送選別の分子機構	関西医科大学教授 田代 裕	7,000,000
日本地質学会	自動断層監視装置の開発による東海地震への対応	東京大学地震研究所助手 恒石幸正	9,000,000
日本機械学会	高温の半導体融体等の熱物性値測定法の研究	慶応義塾大学教授 長島 昭	4,500,000
日本生化学会	細胞間マトリックスの構築と機能に関する研究	東京農工大学教授 藤本 大三郎	7,500,000
日本化学会	遷移金属多核錯体の合成,ならびにその電極触媒機能および生体関連反応の研究	早稲田大学助教授 松本和子	15,000,000